



# 2016年12月期 第3四半期決算説明会

**井関農機株式会社**

**取締役 専務執行役員 富安 司郎**

**2016年11月15日**



# 目次

1. 2016年12月期 第3四半期業績の概要
2. 国内外市場の動向
3. 2016年12月期 業績予想
4. トピックス

# ※前期実績との業績比較について

## 2015年度(前期)は決算期変更に伴い9ヶ月の変則決算

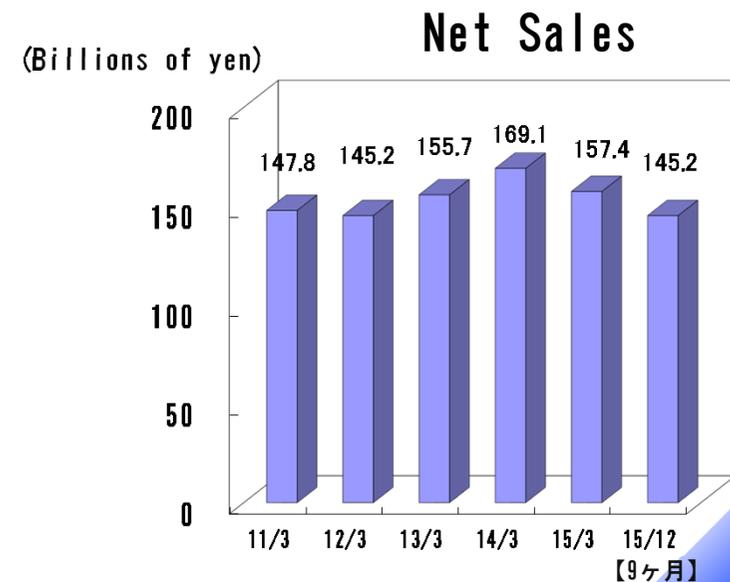
調整後実績：2015年度実績の対象期間を2016年度と同期間に調整

	2015年度				2016年度			
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
旧3月決算会社 (井関農機 他)								
12月決算会社 (国内販売会社 他)								

※フランスの子会社のみ9月決算となっております。(第3四半期では、10～6月を計上)



# 1. 2016年12月期 第3四半期業績の概要



# 第3四半期連結業績の概要

(単位：億円、%)

科 目	15/12期 3Q 調整後実績		16/12期 3Q 実 績		前年同期比 (調整後比) 増減
		比率		比率	
売上高	1,177	100.0	1,184	100.0	+7
(国内)	930	79.0	919	77.6	△11
(海外)	247	21.0	265	22.4	+18
営業利益	11	0.9	28	2.4	+17
経常利益	9	0.8	16	1.4	+7
親会社株主に帰属する 四半期純利益			7	0.6	
為替 レート	米ドル	119.9	109.6		△10.3
	ユーロ	135.8	122.9		△12.9

# 国内売上高の内訳

(単位：億円)

		15/12期 3Q 調整後 実績	16/12期3Q 実績	前年同期比 (調整後比)		
				増減	備考	
農機関連	農機製品	整地機	227	213	△14	トラクタ：△16
		栽培機	78	74	△4	田植機：△6 移植機：+2
		収穫調製機	142	143	+1	コバイン：△4 籾摺機：+3
		小計	447	430	△17	
		作業機	138	149	+11	
		部品	105	109	+4	
		修理収入	36	39	+3	
		小計	279	297	+18	
		計	726	727	+1	
		施設工事	46	43	△3	
	その他農業関連	158	149	△9		
	合計	930	919	△11		

# 海外売上高の内訳

(単位：億円)

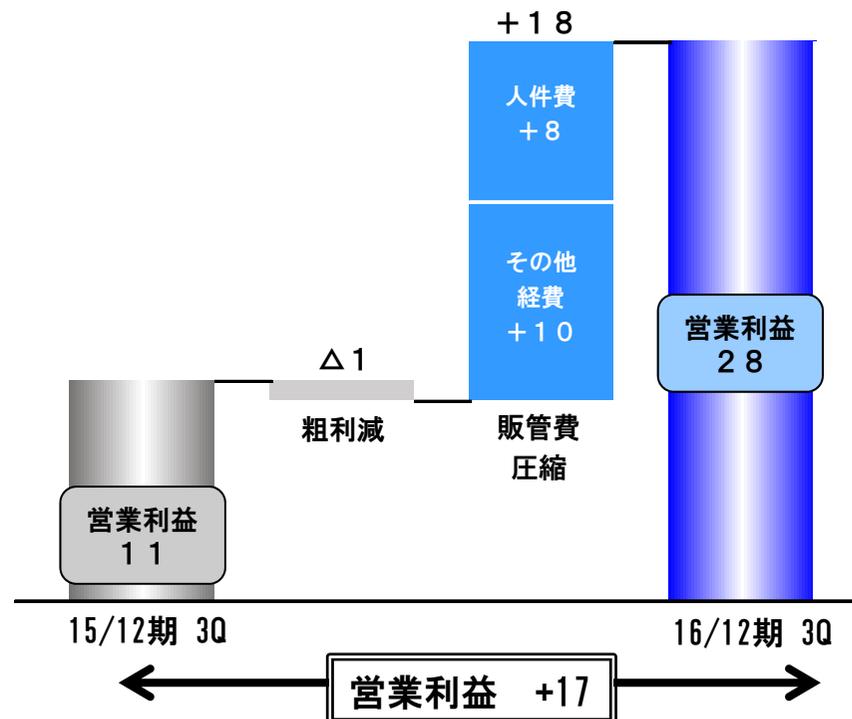
	15/12期 3Q 調整後 実績	16/12期3Q 実績	前年同期比 (調整後比)	
			増 減	備 考
北 米	96	94	△2	トラクタ : △ 3 芝刈機 : + 1
欧 州	93	75	△18	トラクタ : △ 5 芝刈機 : △13
中 国	10	24	+14	トラクタ : + 6 田植機 : + 9
アセアン	10	25	+15	トラクタ : +13 田植機 : + 1
その他	14	16	+2	トラクタ : + 1 田植機 : + 2
製品 計	223	234	+11	
部品その他	24	31	+7	
連結合計	247	265	+18	
中国事業を含む 海外売上合計	312	309	△3	
海外売上高比率	25.1%	25.2%		

# 営業利益

(単位：億円、%)

科目	15/12期 3Q 調整後 実績	16/12期3Q 実績	前年同期比 (調整後比) 増減
売上高	1,177	1,184	+7
売上総利益	347	346	△1
粗利率	29.5%	29.2%	△0.3%
販管費	336	318	△18
人件費	194	186	△8
その他経費等	142	132	△10
営業利益	11	28	+17

## 【営業利益増減内訳(億円)】



## 【為替影響(億円)】

売上	原価	販管費	営業利益
△19	+12	+2	△5

# 経常利益、四半期純利益

(単位：億円)

	15/12期 3Q 調整後 実績	16/12期3Q 実績	前年同期比 (調整後比) 増減
営業利益	11	28	+17
金融収支	△ 5	△ 5	-
その他営業外収支	3	△ 7	△10
経常利益	9	16	+7
特別利益	4	12	+8
特別損失	△ 6	△ 13	△7
税前利益	7	15	+8
税、税調整額		△ 8	
親会社株主に帰属する 四半期純利益		7	

## 【前年同期比増減内訳】

### 営業外収支内訳

為替差損	△	5億円
持分法投資損失	△	5億円

### 特別損益内訳

投資有価証券売却益	+	9億円
災害損失	△	11億円
前期の課徴金計上	+	3億円

# バランスシート (連結)

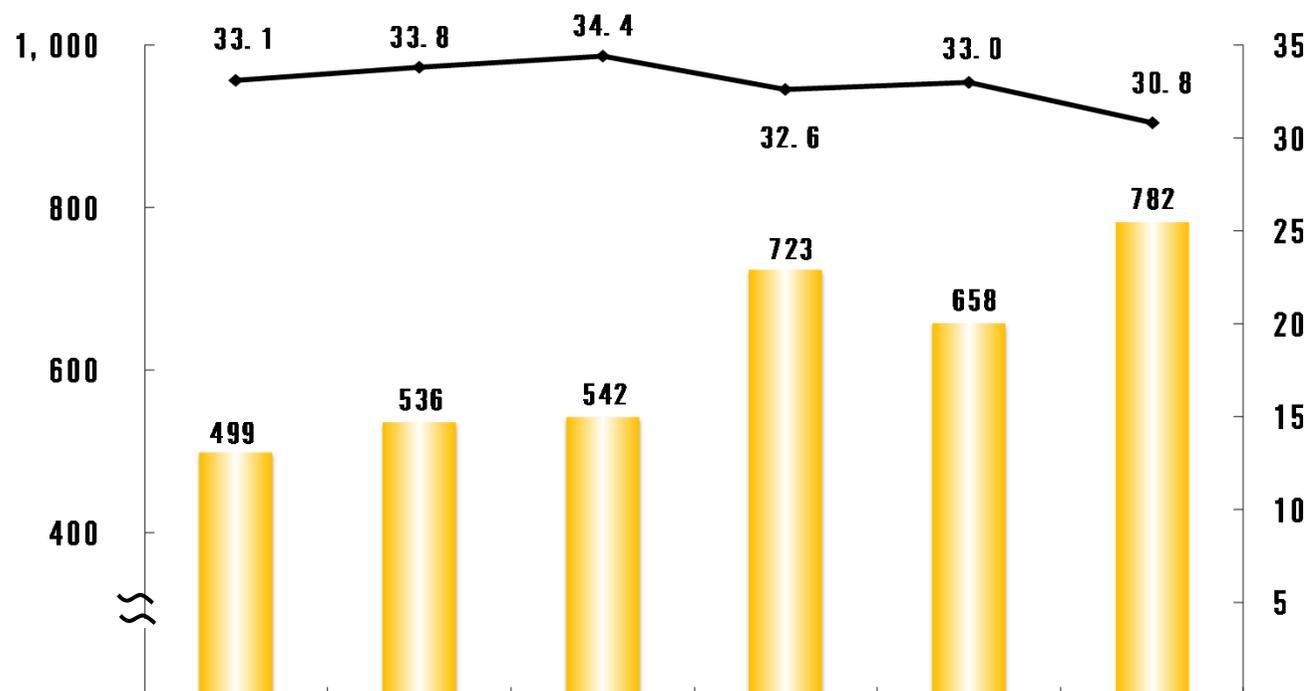
(単位：億円)

	15/9月末	16/9月末	増減		15/9月末	16/9月末	増減
現預金	77	145	68	仕入債務	396	402	6
売上債権	329	336	7	有利子負債	723	782	59
棚卸資産	488	472	△ 16	その他負債	260	241	△ 19
(内 製品・商品)	(419)	(400)	(△19)	負債計	1,379	1,425	46
その他流動資産	35	38	3	純資産	692	658	△ 34
流動資産計	929	991	62	(利益剰余金)	(143)	(139)	(△4)
有形・無形固定資産	966	978	12	(有価証券評価差額金)	(24)	(5)	(△19)
投資その他資産	176	114	△ 62	(為替換算調整勘定)	(18)	(3)	(△15)
固定資産計	1,142	1,092	△ 50	負債・純資産計	2,071	2,083	12
資産合計	2,071	2,083	12				

# 自己資本比率・有利子負債

有利子負債残高(億円)

自己資本比率(%)



	12/9	13/9	14/9	15/9	15/12	16/9
借入金・社債	438	469	462	631	567	697
リース債務	61	67	80	92	91	85
計	499	536	542	723	658	782
D/Eレシオ	0.83倍	0.81倍	0.79倍	1.05倍	0.97倍	1.19倍

※D/Eレシオ=有利子負債/純資産 ※リース債務を含む



## 2. 国内外市場の動向

農業女子コラボ第二弾  
耕うん機「ちょこプチ」 ※H28年12月販売開始予定



KCR605W

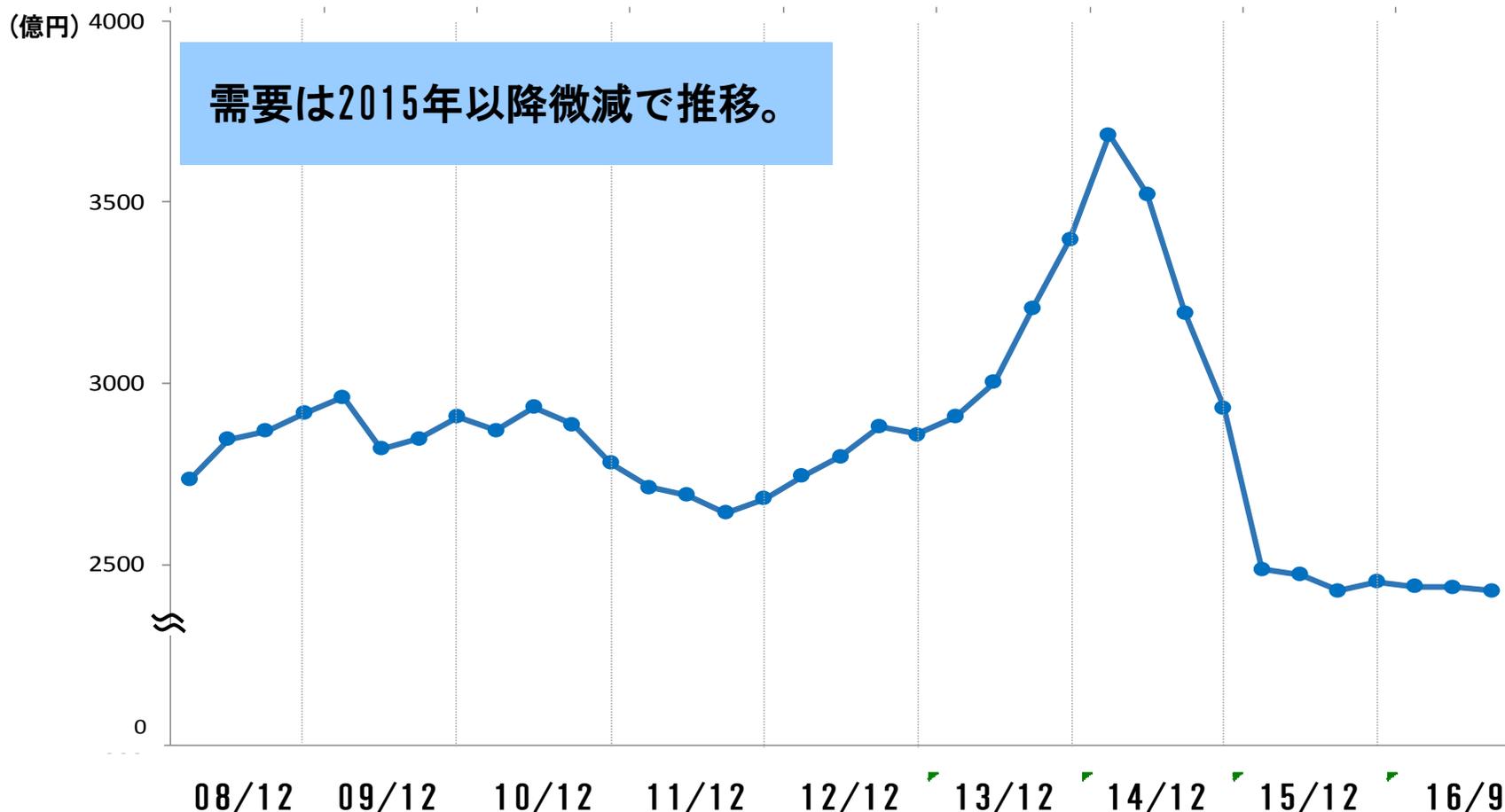
KM27BDW

KM17W

# 国内市場の動向と当社状況

## 農機需要〔業界出荷〕

(主要9機種・移動年計)



# 国内売上高の状況

## 農機関連売上高

(単位：億円)

		15/12期 3Q 調整後 実績	16/12期3Q 実績	前年同期比 (調整後比) 増減	
農機 関連	農機 製品	整地機	227	213	△14
		栽培機	78	74	△4
		収穫調製機	142	143	+1
		小計	447	430	△17
		作業機	138	149	+11
		部品	105	109	+4
		修理収入	36	39	+3
		小計	279	297	+18
	計		726	727	+1

農機製品の売上減少を「作業機・部品・修理収入」でカバー

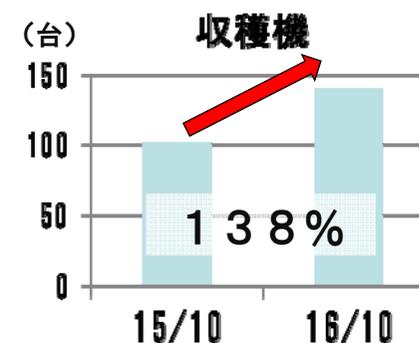
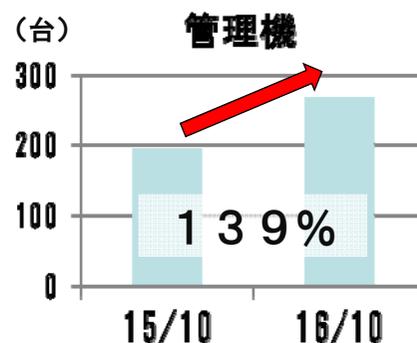
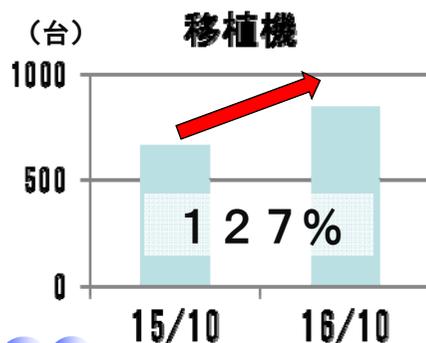
# 野菜作機械化の状況

## ■野菜作機械化一貫体系



## ■野菜作専用機実売状況

(当社実売/移動年計)



# 耕うん管理機

耕うん機・管理機需要

112千台

\*2015/10-2016/9

専業農家(野菜作)

一般農家(自給用)

ホビー・家庭菜園



# 耕うん機新商品投入

マーケットニーズ

ユーザー

ニーズ

農家 女性  
高齢者

非農家

安全  
使いやすさ

女性目線  
での開発

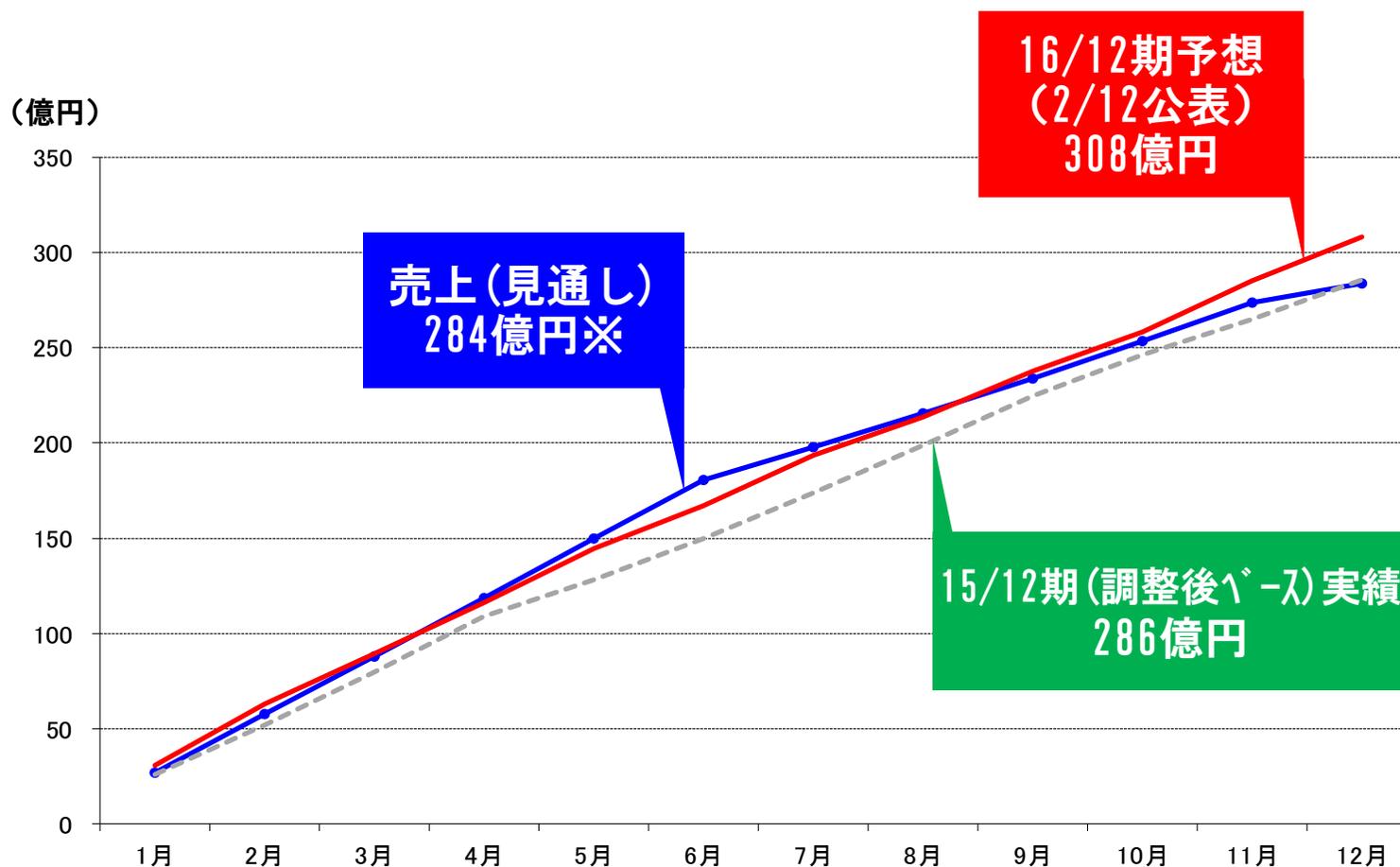
農業女子

専業農家

ちょこプチ  
(11月4日発表)



# 海外 製品売上の直近状況



※16/12期受注(1-12月)：1-9月は売上実績、10-12月は売上見通し  
「部品 その他」は含まず

# 海外市場の動向（北米）

## 1. 市場の動向

（単位：千台）

区分 (PTO馬力)	ユーティリティ (40hp以上、100hp以下)		コンパクト (40hp以下)		
	米国	カナダ	米国	カナダ	
2015年1-9月	45	4	49	94	104
2016年1-9月	43	4	46	105	113
増減率	96%	90%	95%	112%	109%

出所：AEM統計  
 (米国機器製造者団体：  
 Association of Equipment Manufacturers)  
 四捨五入のため増減で一致しないものがある

## 2. AGCO社(OEM先)の状況

実売台数(16/1-9月)

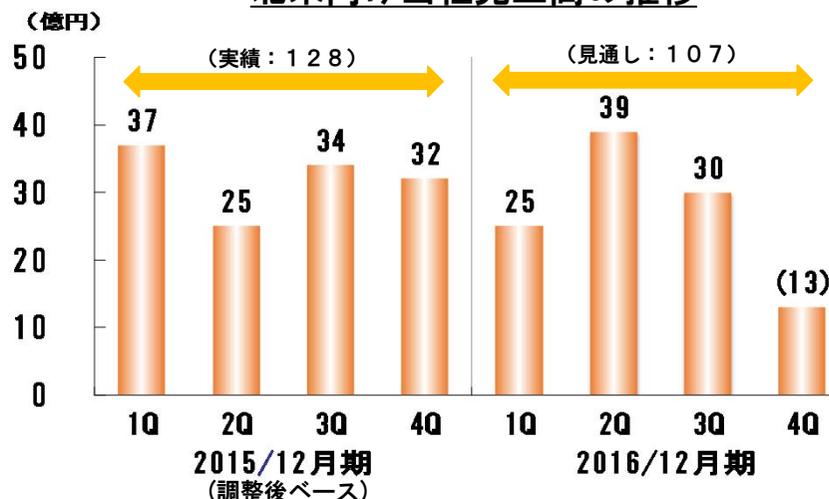
- ユーティリティ : 前年並み
- コンパクト : 前年を上回る

## 3. 当社の状況

出荷・受注(1-12月) : 前年を下回る

- ・ 中小型市場での競争が激化する中、AGCO社実売は市場を上回り推移。
- ・ 当社売上は為替影響及びAGCO社との取引条件一部変更に伴う売上計上の時期ずれにより前年比減少の見通し。

北米向け当社売上高の推移



# 海外市場の動向（欧州）

## 1. 市場の動向

極端な長雨や乾燥等の天候不順により需要が伸び悩む。

## 2. 販売代理店の状況

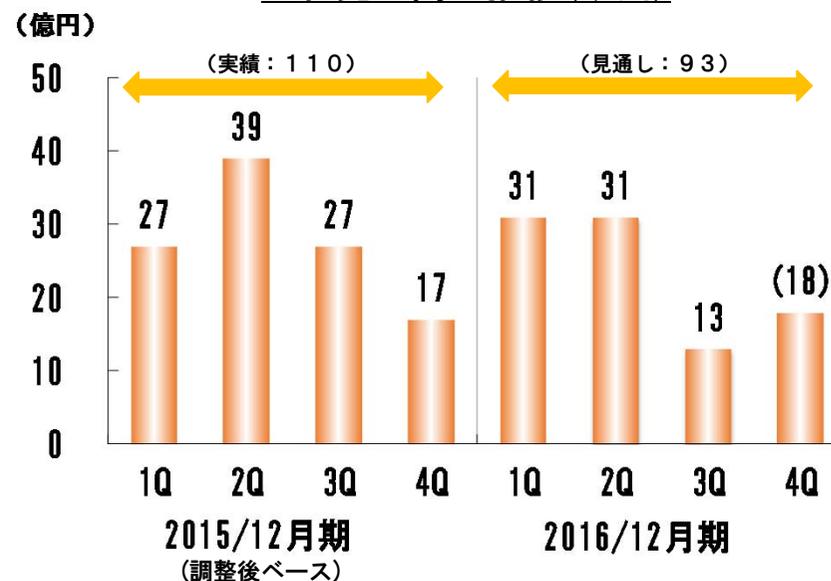
### ➤ 実売台数（16/1-9月）

- ・ 現地販売代理店 : 前年を下回る
- ・ ISEKIフランス (連結子会社) : 前年を下回る



- ・ 天候不順による需要の減少により現地売上は減少しているものの、  
ウィンターキャンペーンの前倒し実施等により、足許では回復傾向。

当社売上高の推移(欧州)



# 海外市場の動向（タイ）

## 1. 市場の動向

干ばつにより農機市場が大きく縮小していたものの、雨季に入って以降足許の需要は復調の兆し。一方では、国王崩御による経済に与える不透明感に加え、米価の低迷もあり、全面的な需要回復までまだ暫く時間を要する。

## 2. 現地販売会社〔ISEKI SALES (THAILAND)〕の状況【三菱商事80%、当社20%出資】

アセアン戦略トラクタ(昨年投入)

・実売台数(1-9月)：前年を上回る

汎用コンバイン(今年8月投入)



- ・ 新商品(汎用コンバイン)の投入、販売網の拡充、さらなる売上拡大。
- ・ 新現地法人「ISEKI THAILAND」(11月設立(100%子会社))
  - ・ 現地部品、作業機等の開発・調達・販売。
  - ・ パーツセンター等アフターサービス支援 等。

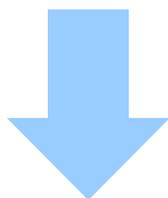
# 海外市場の動向 (インドネシア)

## 1. 市場の動向

政府主導の機械化推進 (政府入札) による農機普及の後押し。

## 2. 販売の状況

2016年も引き続きトラクタ、歩行田植機の受注獲得



・ 前年を上回る受注獲得。

# 海外市場の動向 (インドネシア)

## 3. 生産の状況

・ PT. ISEKI インドネシア 生産台数推移と当社の取組み

		2014年 実績	2015年 実績	2016年 (見通し)	2017年 (計画)	
生産台数		1,100	3,900	7,300	8,200	
生産 機種 種	北米	●エコノミートラクタ(小)		●エコノミートラクタ(大)		
	欧州	●エコノミートラクタ				
	アセアン	●アセアン戦略トラクタ				
当社の取組み		←ものづくりに注力→		←購買強化→	←生産管理強化→	
		←現調推進→		←生産管理強化→		
						生産基盤強化

PT. ISEKI インドネシア フル生産体制へ

→ 『インドネシア事業プロジェクト推進部』 の設置 (11月1日)

資材調達最適化等の生産性向上に取組み、生産基盤の強化を図る。

# 海外市場の動向（中国）

## 1. 市場の動向

### ■ 中央政府補助金

									(億元)	
2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014年	2015年	2016年		
40	130	155	175	215	217.5	238	238	第1期	228	
								年間	237.4	

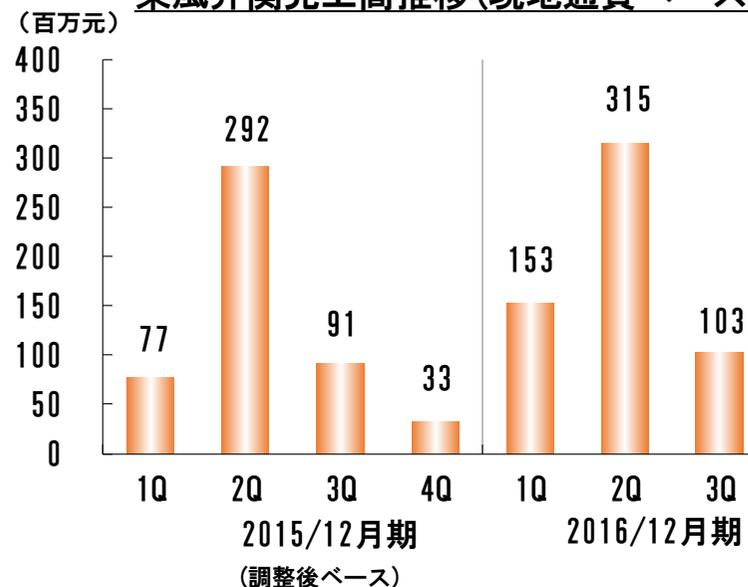
## 2. 東風井関の状況

### 東風井関の販売台数(16/1-9月)

\*中国から東南アジアなどへの輸出は含まず

- 田植機(歩行・乗用) : 前年を上回る
- コンバイン : 前年を上回る
- トラクタ(本格販売) : 順調なスタート

### 東風井関売上高推移(現地通貨ベース)



新工場設立(12月予定)による生産増。更なる拡販を図る。



## 3. 2016年12月期 業績予想



土壤センサ搭載型可変施肥田植機  
NP80-FV(8条植え)



# 2016年12月期 業績予想

## 1. 通期業績予想

(単位：億円)

科 目	15/12期 調整後 実 績	16/12期		今回予想との増減	
		前回予想※	今回予想※	前年同期比	前回予想比
売上高	1,568	1,615	1,555	△13	△60
(国内)	1,254	1,278	1,235	△19	△43
(海外)	314	337	320	+ 6	△17
営業利益	2	35	28	+ 26	△7
経常利益	4	32	20	+ 16	△12
親会社株主に帰属する 当期純利益		19	7		△12

第4四半期想定為替レートは、米ドル：105円 ユーロ：115円  
 (通期想定平均為替レート 米ドル：109円 ユーロ121円)

※ 当初予想：8月10日公表、今回予想：11月11日公表

## 2. 期末配当予定

	15/12期	16/12期(予定)
期末配当	1.5	1.5～3.0

<為替感応度(営業利益、通期ベース)>

	為替感応度	(単位：百万円)
ドル	12	
ユーロ	19	



## 4. トピックス



# 知的財産報告書の発行

知的財産報告書 2016 年版  
- Intellectual Property Report 2016 -



2016 年 10 月  
井関農機株式会社

～ご紹介の内容～

研究開発の方向性

知的財産戦略

研究開発・知的財産推進体制

知的財産の事業への貢献

知的財産状況 など

# グローバルトレーニングセンター設立

## <国内事業>

“農業構造の変化”

大規模化・作付転換

## <海外事業>

“グローバル戦略展開”

中国・アセアン  
成長エンジン

提案・サポート力の強化

夢ある農業総合研究所  
設立（2015年10月）



グローバルトレーニングセンター（IGTC）  
（2017年1月）



茨城県  
つくばみらい市

## 将来の見通しに関する記述についての注意

- ・本資料は、情報提供を目的として作成しており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・本資料は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が作成したものでありますが、潜在的リスクや不確実性が含まれており、経済情勢や市場動向の変化等により実際の結果と必ずしも一致するものではありません。
- ・ご利用に際しては、ご自身の判断でお願い致します。  
本資料に掲載している業績予想や目標数値に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。



安心を、未来へつなぐ食料自給率1%アップ運動  
**FOOD ACTION NIPPON**

井関グループは FOOD ACTION NIPPON の推進パートナーです。



未来の  
ために、  
いま選ぼう。

井関グループは、  
環境省による地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を  
促す国民運動である【COOL CHOICE】の取組みに賛同しています。  
「賢い選択」の提案として「エコ商品」など  
環境に配慮した商品の開発普及を推進しています。